

患者が次々診察へ…受験シーズンにコロナ等の感染者急増 医師はインフルエンザ予防接種を推奨「まだ流行続く」

2/2(火) 東海テレビ



<https://www.youtube.com/watch?v=ye33Jn-jfgY>

本格的な受験シーズンを迎えています、インフルエンザが猛威を振るって、感染に注意が必要です。

本格的な受験シーズンに入る中、受験生が体調を気にかけています。先週から検温を再開した学習塾もあります。

中学3年の受験生：

「マスク着用を心がけています」

学習塾の塾長：

「ここで実力を発揮していただくためにも、感染とかに注意していただきたい」

愛知県の大村知事は2月1日の会見で、新型コロナウイルスの感染者が県内の1日当たりの推計で5000人を超え「第10波」に入ったと話しました。

大村愛知県知事：

「4年ぶりに流行しておりまして、昨年11月にインフルエンザ警報を発令いたしました。3週連続で増加しております」

例年、冬に猛威を振るうインフルエンザです。愛知県では今シーズン、増加傾向にあります。1月22日から28日に確認された患者は4812人で、前の週と比べると400人近く増加していて、前のシーズンよりも大幅に増えています。

2日、名古屋市南区のクリニック「はざま医院」では、せきや鼻水、発熱といったインフルエンザが疑われる患者が、次々と診察に訪れていました。

30代女性：

「火曜ぐらいから喉が腫れているのと、せき、鼻水で、熱もちょっと」

3日前からのどが腫れ始めこの日の朝、微熱が出たという女性に話を聞きました。

30代女性：

「(インフルエンザの予防接種は)今年打ってなかったんですよ。家帰ったら手洗いはするようにはしています」

インフルエンザと新型コロナの抗原検査の結果、新型コロナに感染していたことがわかりましたが、このクリニックでは今シーズン、多い日にはインフルエンザの感染が1日で5人ほど確認され、最近特に感染する人が増えているといます。

はざま医院の伊藤伸介医師：

「例年でしたらインフルエンザは1カ月から1カ月半でだいたい終焉していきますけど、今年は9月下旬ぐらいから始まって、4カ月経っても終焉するどころか、まだ多い状態が続いていますね」

コロナ禍に流行しなかったことから、インフルエンザの免疫を持っている人が少なく、高止まりの状態が続いているといます。

はざま医院の伊藤医師は予防接種を勧めています。

伊藤医師：

「今2月でしょ。(例年なら)『今さら打っても』ってことになりますけど、今年はまだまだ流行続いていますので、今からでもお打ちになったらどうでしょうか」